

【大項目毎の進捗状況、進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題】

兵庫ひまわり信用組合

大項目	17年4月～19年3月の進捗状況		19年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題（19年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む）
		18年10月～19年3月の進捗状況	
事業再生・中小企業金融の円滑化	<p>中小企業金融を円滑に進めるうえで基本となる、人材育成にかかる取組みを組合内部で計画的に推し進める事ができた。また、計画推進過程において職員の意識向上が図られた。</p> <p>日々の業務を通じて顧客とのコミュニケーションを高めることにより、取引先への支援機能を向上させることができ、取引先の成長による地域経済の活性化に寄与できた。さらに、顧客との長期的な良好なる信頼関係の構築に向け着実に前進することができた。</p> <p>「重点強化期間」地域における金融仲介機能の強化の面から、中小零細企業専門金融機関として一定の役割を果たすことができた。</p>	<p>集合研修・通信教育を積極的に推進した結果、職員教育、人材育成の面で一定の成果があった。</p> <p>〇店舗役席及び渉外係の日常業務の質を向上させることで顧客との関係をより深くすることが出来た。</p> <p>職員が常に顧客第一を考え業務を行うことでリレーションシップ・バンキングとしての役割を高めるうえで前進があった。</p>	<p>人材育成に向けた取組みにおいて幅広い手法の研究、計画的な推進を行うことで職員の実務レベルの向上を図る</p> <p>地域密着度の向上、リレーションシップの強化、地域経済の活性化推進</p> <p>融資審査の高度化、信用リスクデータの充実、独自の商品開発に向けた取組み等の重点的推進</p> <p>説明態勢・相談苦情処理機能の強化に向けた取組み、顧客満足度の向上に向けた取組みをより積極的に推進</p>
経営力の強化	<p>人材育成を積極的に推進することにより、信用リスク管理、コンプライアンス態勢を強化することができ、組合経営の健全性・安全性の確保に向け前進があった。</p> <p>信用リスク管理の手法を研究し実践することにより、顧客との信頼関係を高めることができ、組合経営の健全性・安全性確保面で前進があった。</p> <p>信用コストの計量、リスクに見合った貸出金利の算定等の研究・討議により、組合の収益力を押し量る基準、土台を築くことができた。</p>	<p>コンプライアンス委員会・リスク管理委員会の機能を高めることで経営の健全性・安全性を確保することが出来た。</p> <p>信用リスク管理の高度化に対する研究実施</p>	<p>リスク管理態勢の充実、収益管理態勢の整備・向上に向けた取組みの推進において基本となる、職員のスキルアップを引き続き推進</p> <p>信用リスク管理の更なる高度化に向けた取組みの研究・実践</p> <p>信用リスクデータの継続収集、信用リスクデータベースの一層の充実</p> <p>リスクに見合った貸出金利の設定方法など信用リスクデータの活用方法の研究</p> <p>総代会の機能強化</p> <p>コンプライアンス態勢の強化に向けた継続的取組み</p>
地域の利用者の利便性向上	<p>組合の信頼性を高めるべく、地域における資金供給状況等、金融仲介機能に関する情報開示に向け前進できた。</p> <p>組合員および利用者の満足度を高めるための取組みを推進することにより、組合員および利用者からの要望・期待を認識し、今後も顧客の利便性向上に向けた取組みを実践し、態勢の整備において前進があった。</p>	<p>17年度及び18年度上期の経営実態についてディスクロージャー誌に掲載し取引先に配布</p> <p>ホームページからの意見・要望等の受付、フリーダイヤル設置等により地域利用者からの問い合わせ等が増加。これにより利便性向上につながる対策を講じることができた。</p> <p>(ATM取扱時間(セブン銀行提携)延長実施18年12月)</p>	<p>顧客の要望・満足度の収集および把握に関する研究・実践の継続</p> <p>情報開示内容の検討および対応</p> <p>情報開示方法の研究および実践</p>

(注)本紙1枚に簡潔にまとめて記載すること。

地域密着型金融推進計画の進捗状況

兵庫ひまわり信用組合

項 目	17年度～18年度		19年度以降における今後の方針
	17年度及び18年度上期	18年度下期	
	具 体 的 な 取 組 み お よ び 実 施 ス ケ ジ ュ ー ル		
1. 事業再生・中小企業金融の円滑化			
(1) 創業・新事業支援機能等の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・全国信用組合中央協会主催の外部研修に職員を派遣 ・営業及び審査担当職員による通信講座の受講 ・ " " 内部研修 		重点期間中の取組みを継続
	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修へ職員を派遣 (17年度3名受講、18年度上期1名受講) ・通信講座に15名受講し、1名表彰 ・組合内研修の実施 	・1月27日内部研修に55名参加	-
(2) 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化	取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化		
	組合職員のスキルアップに向けた取組み		
	<ul style="list-style-type: none"> ・全国信用組合中央協会主催の外部研修に職員を派遣 ・営業及び審査担当職員による通信講座の受講 		重点期間中の取組みを継続
	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修へ職員を派遣 (17年度3名受講、18年度上期1名受講) ・通信講座に7名が受講し、2名表彰 ・渉外業務を通じた顧客情報の収集 ・組合内研修の実施 ・各店舗別渉外係による小口融資の獲得運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・1月27日内部研修に55名参加 ・各店舗別渉外係による小口融資の獲得運動 	-
	要注意先債権等の健全債権化等に向けた取組みの強化		
	組合職員のスキルアップに向けた取組み		
	<ul style="list-style-type: none"> ・全国信用組合中央協会主催の外部研修に職員を派遣 ・営業及び審査担当職員による通信講座の受講 		重点期間中の取組みを継続
	<ul style="list-style-type: none"> ・10月3～6日外部研修に3名受講 ・通信講座に7名が受講し、2名表彰 		-
	健全債権化等に向けた取組み		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ランクアップ対象先及び担当者の選定 ・モニタリングの推進、信用リスク管理の強化 ・営業店と本部の連携強化及び情報の共有化 ・自己査定作業による検証 		重点期間中の取組みを継続
<ul style="list-style-type: none"> ・ランクアップ対象先を82先(うち45先モニタリング中)中、4件ランクアップ ・四半期ごとに進捗状況報告を実施 ・営業店と本部の情報共有化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ランクアップ対象先を45先を選定し、モニタリングを実施、結果6先ランクアップ ・12, 3月に進捗状況報告実施 	-	
健全債権化等の強化に関する実績の公表等			
16年度～18年度上期の実績についてホームページに公表			18年度の実績についてホームページにおいて公表
16年度～17年度までの取組件数・体制整備状況実績をホームページに公表		18年9月の取組件数・体制整備状況実績をホームページに公表	-

地域密着型金融推進計画の進捗状況

兵庫ひまわり信用組合

項 目	17年度～18年度		19年度以降における今後の方針		
	17年度及び18年度上期	18年度下期			
	具 体 的 な 取 組 み お よ び 実 施 ス ケ ジ ュ ー ル				
進 捗 状 況					
(3) 事業再生に向けた積極的取組み	事業再生に向けた積極的取組み				
	組合職員のスキルアップに向けた取組み				
	<ul style="list-style-type: none"> ・全国信用組合中央協会主催の外部研修に職員を派遣 ・営業及び審査担当職員による通信講座の受講 		重点期間中の取組みを継続		
	<ul style="list-style-type: none"> ・通信講座に4名が受講 ・融資担当役席の研修実施 	・1月27日に内部研修を実施	-		
(4) 担保・保証に過度に依存しない融資の推進等	担保・保証に過度に依存しない融資の推進				
	組合職員のスキルアップに向けた取組み				
	<ul style="list-style-type: none"> ・内部研修の実施 ・全国信用組合中央協会主催の外部研修に職員を派遣 ・営業及び審査担当職員による通信講座の受講 		重点期間中の取組みを継続		
	<ul style="list-style-type: none"> ・10月17～21日外部研修に5名参加 ・通信講座に17名が受講 ・内部研修の実施 		・1月27日に内部研修を実施	-	
	信用リスクデータベースの整備・充実及びその活用				
	<ul style="list-style-type: none"> ・渉外業務及び自己査定作業を通じた信用リスクデータの収集・蓄積 ・信用リスクデータに基づいた信用コストの算出・認識及び適正貸出金利の設定にかかる検討 ・適正ポートフォリオについての検討 		重点期間中の取組みを継続	・収集・蓄積した信用リスクデータをもとに、担保・保証に過度に依存しない融資手法を検討	
	<ul style="list-style-type: none"> ・内部研修の実施 ・包括根保証の廃止、規定を改定 ・融資審査の効率化、迅速化を推進 		・キャッシュフローを重点とする与信増強を図り、融資審査の効率化、迅速化推進	-	
	中小企業の資金調達手法の多様化等				
	中小企業金融の資金調達手法の多様化等				
	独自の商品開発に向けた資料収集及び研究・討議			重点期間中の取組みを継続	
<ul style="list-style-type: none"> ・他金融機関の商品情報収集 ・独自商品の開発にかかる討議・検討を随時実施 ・キャッシュフローを重視した中小企業者への融資推進 		<ul style="list-style-type: none"> ・商品開発について研究中 ・キャッシュフローを重視した中小企業者への融資推進 	-		

地域密着型金融推進計画の進捗状況

兵庫ひまわり信用組合

項 目	17年度～18年度		19年度以降における今後の方針	
	17年度及び18年度上期	18年度下期		
	具 体 的 な 取 組 み お よ び 実 施 ス ケ ジ ュ ー ル			
進 捗 状 況				
(5) 顧客への説明態勢の整備、相談苦情処理機能の強化	顧客への説明態勢の整備			
	組合職員のスキルアップに向けた取組み			
	・内部研修の実施 ・通信講座の受講			重点期間中の取組みを継続
	17年5月13日研修を実施 18年2、7、8月に各店舗にて内部研修実施		引き続き内部研修等で職員の意識・能力の向上に努める	-
	内部規定の整備、実効性の向上			
	・内部規定の整備 ・状況把握、営業店の指導強化			重点期間中の取組みを継続
	・与信取引に関する各種契約書式の見直しに着手 (17年9月27日協議会に参加) ・同事務取扱要領を17年9月30日改定 書式改定後18年10月16日再改定		・与信取引に関する各種契約書式の改定実施(10月16日) ・事務取扱の実効性確保	-
	相談苦情処理機能の強化			
(6) 人材の育成	・相談・苦情処理機能を強化すべく営業店の指導強化 ・相談・苦情の分析、改善策の検討・実施 ・全国信用組合中央協会主催の外部研修に職員を派遣		重点期間中の取組みを継続	
	・相談・苦情については適正な対応推進 ・「お客様相談室」の設置に向け作業中		外部研修に2名受講	
	・全国信用組合中央協会主催の外部研修に職員を派遣 ・各種内部研修の実施 ・通信講座の受講		重点期間中の取組みを継続	
	・17年10月、外部研修に14名参加 ・通信講座に42名が受講 ・17年10月、11月、12月に内部研修実施		外部研修に3名受講 18年10月、19年1月、2月に内部研修実施	

地域密着型金融推進計画の進捗状況

兵庫ひまわり信用組合

項 目	17年度～18年度		19年度以降における今後の方針
	17年度及び18年度上期	18年度下期	
	具 体 的 な 取 組 み お よ び 実 施 ス ケ ジ ュ ー ル		
進 捗 状 況			
2. 経営力の強化			
(1) リスク管理態勢の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・研修等による人材育成・レベルアップ ・自己査定及び外部監査を通じて適切な償却・引当を実施 ・ALMシステム導入による分析開始および強化 		重点期間中の取組みを継続
	<ul style="list-style-type: none"> ・17年6月9日のALMシステムに関する研修会に2名参加 ・不動産担保評価の見直しを実施、信用リスク管理の高度化に向けた手法の検討、取組みの実施 ・17年度決算時、貸倒引当金算出にDCF法を用いた ・要管理債権（条件緩和債権）に関する基準金利の制定 	<ul style="list-style-type: none"> ・パーゼル 対応リスクウェイト算出システム導入 ・要管理債権（条件緩和債権）に関する基準金利の制定 	-
(2) 収益管理態勢の整備と収益力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・内部研修の実施 ・信用リスクデータの収集及び蓄積 ・信用コストの計量 		<ul style="list-style-type: none"> ・重点強化期間中の取組みを継続実施 ・貸出金利の設定に関する基準の検討・整備
	<ul style="list-style-type: none"> ・17年9月14日研修を実施 ・適正な貸出金利の設定について討議 ・H14年8月からH18年度末に至るまでの信用リスクデータを収集・蓄積（倒産確率、貸出実績率等） ・短期プライムレートの基準金利の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・H18年下期の信用リスクデータを収集・蓄積（倒産確率、貸出実績率等） ・短期プライムレートの基準金利の見直し完了（実施日3/30） 	-
(3) ガバナンスの強化	協同組織金融機関におけるガバナンスの向上		重点期間中の取組みを継続
	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクロージャー誌作成 ・ホームページの更新 ・地域総代会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・16年度～18年度上期まで半期ごとにディスクロージャー誌を作成・配布 ・ホームページを更新 ・17年7月25日に三宮支店（16名参加）、17年8月26日に本店営業部（13名参加）において<地域総代会・組合員の集い>を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・18年度上期ディスクロージャー誌を作成・配布 ・ホームページを更新

地域密着型金融推進計画の進捗状況

兵庫ひまわり信用組合

項 目	17年度～18年度		19年度以降における今後の方針
	17年度及び18年度上期	18年度下期	
	具 体 的 な 取 組 み お よ び 実 施 ス ケ ジ ュ ー ル		
	進 捗 状 況		
(4) 法令等遵守(コンプライアンス)態勢の強化	営業店に対する法令等遵守状況の点検強化等		
	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスオフィサー部会の開催 ・コンプライアンス学習推進 ・自店検査内容の見直し ・臨店検査の実施 		重点期間中の取組みを継続
	<ul style="list-style-type: none"> ・各部店で週1回の学習を定例化 ・自店検査内容の見直し実施 ・臨店検査実施(全6店舗) ・店内外の監視システムを一新し、防犯体制を強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス委員会を開催(3/5) ・臨店検査実施(全6店舗) ・ATM設置店の監視システムを一新し、防犯体制を強化 	-
	適切な顧客情報の管理・取扱の確保		
	<ul style="list-style-type: none"> ・情報データの管理に関する規定・要領の作成・改定及び管理システムの導入 ・職員教育の実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・情報データシステムによる管理強化 ・検査体制の確立
	<ul style="list-style-type: none"> ・情報・データ管理規定及び要領を17年8月1日に制定 ・情報管理システム導入済み 	<ul style="list-style-type: none"> ・臨店検査実施(全6店舗) ・自店検査および臨店検査項目に指定 	-
(5) ITの戦略的活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ALMシステムの導入 ・インターネットバンキングの取扱いについて検討・討議 		ALMシステムによる分析および強化
	<ul style="list-style-type: none"> ・17年6月9日のALMシステムに関する研修会に2名参加 ・17年11月にALMシステムの導入 ・インターネットバンキングの取扱いに関する顧客の要望を踏まえ、今後の対応について検討・協議 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALMシステムの内容を分析し、システム活用を早期に実現させる ・インターネットバンキングの取扱いを検討・討議 	-

地域密着型金融推進計画の進捗状況

兵庫ひまわり信用組合

項 目	17年度～18年度		19年度以降における今後の方針
	17年度及び18年度上期	18年度下期	
	具 体 的 な 取 組 み お よ び 実 施 ス ケ ジ ュ ー ル		
進 捗 状 況			
3. 地域の利用者の利便性向上			
(1) 地域貢献等に関する情報開示	地域貢献に関する情報開示		
	資金供給状況、預金活用状況等について、ディスクロージャー誌、ホームページで情報的に開示		
	<ul style="list-style-type: none"> 重点強化期間中の融資総額 2,834件 37,170百万円 内、日本人組合員への融資額 223件 4,096百万円 19年3月末現在貸出金残高 1,757先 37,492百万円 内、中小企業向け貸出残高 697先 30,162百万円 17年8月31日「芦屋・西宮コミュニティー行事」に西宮支店職員が参加 17年度・18年度「しんくみの日週間・献血運動」に参加 	<ul style="list-style-type: none"> 18年下期の融資総額 661件 7,544百万円 内、日本人組合員への融資額 50件 756百万円 	-
	充実した分かりやすい情報開示の推進		
(3) 地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立	顧客（組合員）からの質問・相談について、ディスクロージャー誌、ホームページで積極的に開示		
	<ul style="list-style-type: none"> 17年度の相談件数 297件 18年度の相談件数 136件 理事会・支店長会議で相談内容を報告 顧客からの質問・相談の受付方法等研究 	<ul style="list-style-type: none"> 18年下期の相談件数 90件 パーゼル 実施によるディスクロージャー誌の変更内容及び地域貢献に関するわかりやすい情報開示について研究・検討 	-
(4) 地域再生推進のための各種施策との連携等	顧客のニーズ・要望・満足度等の収集・実践		
	<ul style="list-style-type: none"> 全取引先10,644先に対しアンケート調査を実施（18年1月） アンケート調査結果の分析 	具体的な取組みなし	
4. 進捗状況の公表	地域再生・活性化に向けた取組みにつき検討・協議・対応		
	具体的な取組みなし	具体的な取組みなし	
「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム（平成17～18年度）」の進捗状況について、半期ごとホームページに公表			